

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」福岡空港校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	支援室の広さ確保のために不要なものは撤去するなどしています。	時間帯や利用人数によっては、それぞれの部屋の広さが異なってしまうことがありますそのため、現在広さの確保のために位置などの調整を行っています。
	②	職員の配置数は適切である	○		指導員が6名配置となり、人員は規定人数以上確保しています。	対応が必要な利用者様によっては、担当指導員を2名つけるなどの支援工夫も行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		おもちゃを片付ける棚には写真を貼り、元の位置に片付けやすいように視覚的な工夫を行っています。	部屋によっては視覚に入る情報が多くなってしまい難しいときもあるので、その際は別の部屋で行うなど工夫しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎朝、事業所内の清掃・消毒を行っており、活動に合わせて配置などを変更する対応を行っています。	お子様の支援内容に合わせて(着席が運動活動など)によって個室を分けて支援を行うようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		支援計画を共有し、記録を入力する際に計画に沿った支援が行っていたかを振り返りながら職員間で共有を行っています。	それぞれの役割分担を行い、業務に負担が生じないようにしています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度保護者アンケートを実施し、改善を行っています。	アンケート時だけでなく、日々のフィードバックなどでの保護者様の意向を把握して随時改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	今後も、保護者様に情報公開を周知していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は現在行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に参加できるときは出来る限り参加するようにしています。	全職員一同で参加することは難しいため、研修の動画視聴や報告書等を後日全職員が目を通すようにしています。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		半年に1回モニタリングを行い、保護者様と今後の支援についての話を行う機会を設けています。	保護者様の要望を受け入れ、職員間で話し合いを行って計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		固定化しないようにニーズに合わせた支援を職員間で話し合いながら支援を行うようにしています。	様々な資格を持った職員が在籍しているので、それぞれの視点からの支援内容を提供していきたいと思います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		職員で計画や様子についての話し合いを行い、それを踏まえたうえで計画作成などを行うようにしています。	今後も職員間での話し合いを行っていき、それぞれのお子様に合わせて計画作成などをしていけるようにしたいと思います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援内容を立てる前に計画を見直して計画に沿った内容を考えるようにしています。	現在も計画に沿った支援内容を立案していくことができているので今後も継続して行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		共有事項に関しては話し合いの時間を設け職員全体で共有するようにしています。	今後も活動プログラムを立案するときは職員だけでなく保護者様の意向にも沿いながら行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援内容に関しては様々な視点から見て考えるようにしています。	職種の強みを生かしながら、様々な視点からのプログラムを考案していくようにしたいと思います。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別のお子様でも集団イベントに参加できるような機会を設けています。	必要に応じて計画の見直しや変更等も行っていきたいと思っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		2名体制で行う場合は事前に打ち合わせを行い、支援に入るようにしています。	まだ具体的な内容等を把握できていないところもあったので、適宜連携を取り内容の共有もしていきたいと思っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の中で必要なことや保護者からのお話などを終礼時に共有するようにしています。	共有をその日のうちに完全に出来ているとは限らないため、職員が公休日でいない場合は次の日に必ず共有が出来るようにしていきたいと思っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の記録は詳細に記載するようにしています。	詳細に記載して次に支援に入る際に参考になるように記録の方は書くようにしています。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回はモニタリング会議を行い、モニタリング作成をしています。	現在もお子様全員のモニタリングを行うことができているので、今後も継続して日々の様子などを話し合うようにしていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現在どの職員でも対応できるように各職員が会議等に参加するようにしています。	まだ会議参加が少ない職員もいるので、早急に対応が出来るようにしていきたいと思います。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援事業所との連携を定期的に行っています。	関係機関とのモニタリングや担当者会議を通じて情報共有を行うようにしています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在そういったお子様がいないため取り組んでおりません。今後に備えて行ってきたいと思います。	現在そういった支援が必要なお子様がいないため、今後に備えて他の関係機関と連携を取ってきたいと思います。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在そういったお子様がいないため取り組んでおりません。今後に備えて行ってきたいと思います。	現在そういった支援が必要なお子様がいないため、今後に備えて他の関係機関と連携を取ってきたいと思います。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所等訪問等で情報共有を行っています。	現在保育所等訪問を通して、幼稚園などでの様子などを職員間でも共有していくようにしていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保育所等訪問等で情報共有を行っています。	現在保育所等訪問を通して、学校などでの様子などを職員間でも共有していくようにしていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所との情報交換を行うようにしています。	今後とも担当者会議などを通して他事業所や幼稚園、学校との連携を図ってきたいと思います。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	実施していないため、取り組みを行っていません。	現在は人員や支援の関係上実施していません。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	糟屋郡の自立支援部会に定期的に参加するようにしています。	今後とも積極的に参加を行い、地域での情報を収集して利用者様に還元が出来るようにしていきたいと思います。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後にフィードバックを行い、支援の様子やご家庭の様子などを聞くようにしています。その後は職員の方	保護者様との情報共有は行うことができているので今後もお子様の事での不安感を取り除いていけるようにしたいと思います。

					でも共有するようにしています。	
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		事業所相談や日頃のフィードバックを通して保護者様に寄り添っていきけるようにしています。	自宅でも行ってほしいことを伝えていながら支援を行うようにしていきます。
日々の悩みや今後の支援についてのご相談があるときにはその都度面談等を行い、不安に寄り添っていくことができるようにしたいと思います。	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に口頭と書面で説明を行っています。	不明点等ある場合はその都度説明を行っていきたいと思います。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		原案作成時、モニタリング実施後に保護者の方へ説明を行い同意を得るようにしています。	必要に応じて支援計画の変更等も行っており、その都度説明を行っていきたいと思います。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリングのみだけでなく、必要に応じて面談などを行うようにしています。	日々の悩みや今後の支援についてのご相談があるときにはその都度面談等を行い、不安に寄り添っていくことができるようにしたいと思います。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		毎年一年一回保護者会を実施するようにしています。	保護者会に参加することができなかった保護者様に関しては、資料をお渡しして情報提供できるようにしています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ラインにて日程調整を行い、迅速に対応するようにしています。	今後とも必要に応じて迅速に対応できるように相談環境を整えていきたいと思います。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月2回のブログ更新を行い、イベントの様子や今後の予定について発信するようにしています。	現在もブログ等での発信を行っており、ラインでもイベントの告知などを行い保護者様にわかりやすいように伝えていきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのキャビネットに個人情報情報を保管しています。また、終業後はパソコンも収納しています。	現在も個人情報の管理に関しては徹底しているので今後とも忘れることがないように管理していきたいと思います。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		口頭のみではなく、書面やラインにすることで情報の伝達ができる体制を整えています。	まだ環境としては不十分なところもあるので、今後を見据えてツールの充実化を図っていきたいと思います。
④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	現在行っていないため、取り組んでいません。	地域住民の招待などは行っていません。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成して、月1回訓練を実施しています。日程については予定表に記載して保護者様に周知するようにしています。	今後も月1回の避難訓練を実施していきたいと思います。その様子についてはブログ等での発信も行っています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月の様々な場面を想定した避難訓練を実施しています。	避難訓練のみではなく実際に動画視聴なども行い、標語なども一緒に確認をするようにしています。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシート作成時とアセスメントに服薬状況や発作時の対応などを保護者様から共有していただき職員間でも共有しています。	職員一人一人が服薬状況などを把握していきたいと思います。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメント時にアレルギーについて慎重に聞き取りを行い、徹底を心掛けています。	職員一人一人がアレルギーの有無などを把握していきたいと思います。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは起きた際は報告書を記載し、その日のうちに終礼で共有するようにしています。	今後ともヒヤリハットが起きたときは職員だけではなく保護者様にも共有していきたいと思います。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		入社研修時、行政からの研修、社内の研修委員会実施の研修を受講しています。	研修には積極的に参加をし、職員でも共通認識として日々の業務にあたりたいと思います。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し、必要に応じて個別支援計画への記載を行っています。また、身体拘束同意書も必要なご家庭に署名押印をしていただき保管しています。	今後も身体拘束ゼロの支援を目指しますが、必要に応じて保護者様への説明を行い、同意書の記載や必要なお子様の検討を行ってきたいと思います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」福岡空港校 保護者等数(児童数): 33 回収数: 31 割合: 93.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	6	0	0	・個室空間だといいなと少し思います。 ・個室に分かれたりと十分だと思えます。	現在、個室ブースのため環境設定を行うことを検討しています。今後の進捗に関しては決まり次第、伝達させていただきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	0	0	1	・マンツーマンでついでもらえるのだから療育してもらっているなど感じています。 ・職員間でしっかり情報共有されており、支援後に詳しく子供の様子をわかりやすく教えてくださいありがたい。	・来年度からは個別療育中心で時々集団療育を取り入れる予定です。今後はさらに職員の専門性を活かし、お子様の困り感に寄り添って支援を行っていけるかと思えます。 ・今後も職員間でお子様の情報共有などを行っていき、より効果的な支援を行っていきたいとも思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	5	0	0	・活動中は問題ないが、フィードバック中など子供の待ち時間が発生する際に、子供が衝立に当たって倒れることがあった。倒れやすいため、わが子が他のお子さんにけがさせてしまわないか心配。	フィードバック時の環境設定に関しては今一度見直しを行い、空いている職員がお子様と遊ぶなど危険を未然に防いでいきたいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	4	0	0	楽しそうにしていると思います。	今後とも教室内の整理整頓を行い、気持ちよくお子様が利用できるような心がけていきたいと思います。

適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な対応や話を聞いてくださり、親子で安心してお願いできます。 ・してほしいことをしてくれていると思います。 	支援や療育でのお困りごとや要望などは出来る限りの対応を行い、不安を取り除いていけるような支援計画を作成していきたいと思います。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で困っていることやこうしていきたいとその都度本人の様子や話で支援内容を合わせてもらえるのでとても助かります。 ・されていると思います。 	個別支援計画に具体的な支援内容を記載していますが、不明な点などは、その都度対応させていただきますので遠慮なくお申し出ください。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にあった支援内容提案し取り入れてくれています。 ・行われています。 	作成した計画は必要に応じて見直しなども行いますので、遠慮なくお申し出ください。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の成長発達に合わせて内容を変えてくれている。 ・今は個別なのでわかりません。 	様々な職種の職員が在籍しているので、支援内容に関してはそれぞれ対応させていただいて必要に応じて、共有するところは職員間で共有させていただき共通認識として行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	2	4	14	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所と療育との両立をしている。 ・この療育施設を通してはない。普段は幼稚園に通っているため交流はある。 ・こども園に通っています。 	今後個別療育が中心となる予定ですので、他の事業所や幼稚園との交流を行うための時間設けることが難しいかと思います。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・されました。 	契約時にご説明させていただいていますが不明点等はいつでもお尋ねください。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思います。 	

⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16	7	1	7	<ul style="list-style-type: none"> ・子供との関わりに困っているときにいろいろアドバイスを頂ける。 ・していただいているかもしれないが、行われているかどうか私が理解できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援後のフィードバックの際に療育についてのアドバイスが出来たらと思います。 ・アドバイス等に関しては必要に応じて書面で記載したものなどをお渡しできればと思います。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・療育前後で本人の様子を毎回聞いてくれている。 ・とても密にしていただけ。すぐ先生方と連携を取っていただいている。 ・連絡帳やラインでしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉しいご意見ありがとうございます。職員同士でも日々お子様の情報や特性などを共有していきたいと思っています。 ・今後ともLINE やフィードバックを通しての情報交換も行っていきたいと思っています。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング期間以外でもきちんとお話しする時間を設けてくれる。 ・利用回数が少ないが、子供の様子を気にかけくださり、相談しやすい先生ばかりで、信頼できる。 ・されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内相談や家庭内相談の体制を整えており、悩みや今後の支援の方針などをお話できるような機会を設けています。 ・支援後のフィードバック後にも気になることなどがなければその都度聞いていくことも行っています。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	25	0	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事等で参加したことがないので、分かりません。 ・されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在年1回ではありますが、保護者会を実施しており、今年度は就学・進学・就労についての話を行いました。今後は年2回ほどの開催が出来るようにしていきたいと思っています。
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもこちらの要望に対応して下さりありがとうございます。 ・されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の方で対応することが出来ることに関しては今後とも対応させて頂きたいと思っています。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	0	0	1	・LINE でのやり取りで連絡がとでも取りやすい。 ・されていると思います。	LINE などを通して、気軽に相談しやすい環境にすることを心掛けています。また、その際にもすぐに返答が出来るように全職員が対応できるよう情報共有等も行っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	0	0	2	されていると思います。	現在、月 2 回のブログの更新や毎月のお子様の活動の写真をラインや誕生日カードを通して保護者様へお伝えしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	29	1	0	1	・子供の名前や誕生日などが掲示してある。問題ない範囲かと思う。 ・されていると思います。	職員用のパソコンやご利用者様の情報に関しては、終業後は鍵付きのキーボードに片づけるように徹底しています。 ・誕生表については今後検討していきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	3	0	5	されていると思います。	各マニュアルを作成し、社内研修にも参加しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	1	0	7	されていると思います。	現在月 1 回様々な状況を想定した避難訓練も実施しています。今後とも出来る限りすべてのお子様と一緒に訓練を行うことが出来るようにしていきたいと考えております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31	0	0	0	・とても楽しそうにしている。 ・いつも楽しみにしています。 ・かなり楽しみにして通っている。 ・ニコニコで通っています。 ・とても楽しみにしており、毎回楽しく通所しています。	楽しみに来所してくれているようでとても嬉しく思います。今後とも支援を行っていく中でお子様が楽しみながらできる支援を心掛けて職員一同取り組んでいきたいと思ひます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	30	1	0	0	・先生方皆さんとてもよく子どもたちを見てくださっています。	・現在、事業所には様々な資格を持った職員が在籍しているので、それらの

						<p>同じ支援内容でも先生おひとりおひとり取り組み方がそれぞれあって、偏りが無いことが良いと思います。いつもありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足です。 ・言語聴覚士の支援の介入が行き届かないときもあった。 ・大満足です。 	<p>強みを生かしながら、支援を進めていきたいと思えます。その中でも共通認識で行っていきべきところに関しては、共有しながら行っていきたいと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現段階で言語聴覚士が1名しか在籍していないため、ご希望に添えないこともあるかと思えます。その点に関しては、調整を行い要望のあるお子様に支援を行うことが出来るようにしていきたいと思えます。
--	--	--	--	--	--	---	---

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。